



TITLE:

<記事>6.研究報告抄録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<記事>6.研究報告抄録. 瀬戸臨海実験所年報 1996, 9: 8-8

ISSUE DATE:

1996-07-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178928>

RIGHT:

## 6. 研究報告抄録

瀬戸臨海実験所研究報告 (Publications of the Seto Marine Biological Laboratory) 第 37 巻第 1/2 合併号が、1996 年 2 月 29 日に発行され、掲載論文 5 篇、総頁数 200 頁。

第 37 巻第 1/2 号 (1996 年 2 月)

- 論文 1. Humes, A. G. Copepoda associated with the scleractinian coral *Galaxea* in the Indo-Pacific. [ー：インド・太平洋産アザミサンゴ属のイシサンゴ類と共生するカイアシ類]。インド・太平洋産の浅海性アザミサンゴ属と共生する 8 新種のカイアシ類 (ケンミジンコ類 1 種, ツブムシ類 3 種, 新属 2 種を含むウオジラミ類 4 種) を記載した。アザミサンゴ属からは初めて得られた 6 既知種についても報告し, *Anchimolgus* 属と *Hetairosyna* 属の雌についての検索表を作成した。(1-49 頁)
- 論文 2. Nishi, E. & Arai, Y. Chaetopterid polychaetes from Okinawa Island, Japan, with notes on the feeding behaviour of *Spiochaetopterus costarum costarum*. [西米二郎・荒井靖志：沖縄島産ツバサゴカイ類およびアシビキツバサゴカイの一種の摂食行動]。沖縄, 瀬底島産の 3 属 4 種のツバサゴカイ類 (スナタバムシの一種と *Phyllochaetopterus* 属 2 種は日本新記録種) について, 剛毛の形態および体の特徴を走査電顕などを用いて観察し記載した。あわせて, アシビキツバサゴカイの一種の摂食行動を飼育によって調べた。(51-61 頁)
- 論文 3. Abe, H. Rhombognathine mites (Acari: Halacaridae) from Hokkaido, northern Japan. [安部弘：北日本北海道産のカイソウダニ類 (ダニ類：ウシオダニ類)]。北海道産 2 属 16 種のカイソウダニ類を記載した。*Isobactrus* 属 5 種と *Rhombognathus* 属 6 種は新種で, 残りは, *Rhombognathus* 属の日本新記録種 2 種と 3 既知種。これら 2 属の全既知種の検索表を作成するとともに分布パターンおよび生息地の選好性について報告した。(63-166 頁)
- 論文 4. Ariyama, H. Four species of the genus *Grandidierella* (Crustacea: Amphipoda: Aoridae) from Osaka Bay and the northern part of the Kii Channel, central Japan. [有山啓之：中央日本, 紀伊水道北部および大阪湾産 *Grandidierella* 属 4 種 (甲殻類：端脚類：ユンボソコエビ科)]。紀伊水道と大阪湾の河口および海岸から採集した *Grandidierella* 属の 4 種 (内 2 種は新種) を記載するとともに, 交配実験で種の妥当性を確かめた。(167-191 頁)
- 論文 5. Raveendran, T. V. & Harada, E. Intense predation on ascidians by a trunk fish *Ostracion immaculatus* (Temminck et Schlegel)(Pisces: Ostraciidae). [ー & 原田英司：ハコフグ (魚類：ハコフグ科) によるホヤ類の著しい摂食]。室内での摂食実験により, ハコフグがシロウスボヤ, モヨウボヤおよびシロボヤを著しく摂食することがわかった。また, 白浜近郊産のハコフグの胃内容物中にホヤ類の残さがみられたことから, 野外でも同様の摂食をおこなっていることが示された。(193-200 頁)

(編集委員会)